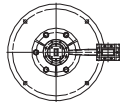
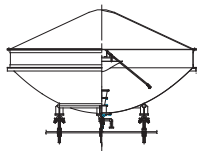
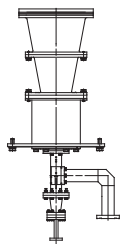
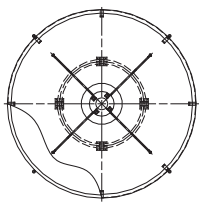
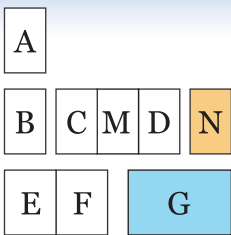


STL/TTL 7.5 / 13 GHz 帯共用パラボラアンテナ



外觀図

一次放射器



2.0テレビ大阪株式会社 演奏所

■ 概要 ■

7.5 / 13 GHz 帯共用パラボラアンテナは、Nバンド及びGバンドにて使用するSHF固定回線用として、デジタル方式送受信空中線規格（単一周波数帯）に対応したパラボラアンテナです。
使用用途・中継距離・設置方法等にあわせた選択が可能であり、STL/TSL回線の共用に最適です。

■ 特徴 ■

1. 高指向性

一次放射器系にコルゲート放射器を副反射鏡系に鏡面修正技術を使用し、N/Gバンド（7425～7750MHz / 12950～13250MHz）の帯域にて、デジタル方式送受信空中線規格（単一周波数帯）に適合する高指向性を実現しております。

2. 共用化に最適

偏分波器を使用し、Nバンド及びGバンドで異なる偏波にて出力され、バンド間結合度に優れた異バンド共用が容易です。
また、共用器を使用する事で、複数チャンネル共用回線の構築に最適です。

■ 仕様 ■

		3.0mφ	
偏 波 面		7425～7750MHz	水平偏波
		12950～13250MHz	垂直偏波
		又は	
			垂直偏波
			水平偏波
空中線利得	7600MHzにて	43.0dB以上	
	13000MHzにて	47.0dB以上	
（但し、レドーム損失含む）			
周波数帯域		7.5GHz帯	7425～7750MHz
		13GHz帯	12950～13250MHz
V.S.W.R.		1.30以下	
交差偏波識別度		28dB以上	
バンド間結合度		30dB以上	
一次放射器形式		カセグレン形	